

豊かな社会を実現するために

氏名：江口 俊文

学校名：福島県いわき市立汐見が丘小学校

担当教科：全教科

実践教科：総合的な学習の時間

時間数：6時間

対象学年：6学年

人数：47名

【実施概要】

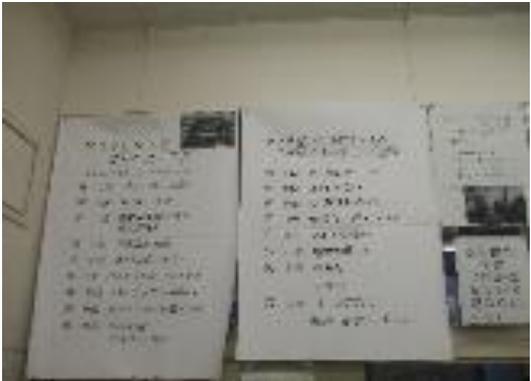
【1】単元のテーマ・目標：

開発途上国の抱える諸問題やフィリピンの関する写真や映像、ダイヤモンドランキング等の活動を通して、開発途上国で暮らす人々の現状と問題を理解するとともに、今の自分や将来の自分ができることを考えて、実践できるような資質や能力を養う。

【2】 単元の 評価規準例	(ア) 関心・意欲・態度	既存の知識と共通体験を通して、開発教育途上国で暮らす人々に関心を持ち、開発途上国のことを考えようとしている。
	(イ) 思考・判断・表現	開発途上国で暮らす人々の立場から、自分でできることを考え、実践しようとするができる。
	(ウ) 技能	自分の考えや思いを発表したり、文章に書いたりして、表現することができる。
	(エ) 知識・理解	開発途上国で暮らす人々の現状と問題を理解できる。

【3】 単元設定の理由 (児童/生徒観、 教材観、指導観)	<p>担任している6年生は、男子21名、女子26名の学年である。男女仲良く、授業中は、積極的に発表している。委員会活動、行事などに対して、責任をもって自分の役割や仕事を果たしている。児童全員が日本人であるが、フィリピンの母親を持つ児童が一人いる。普段、英語の授業を通して、外国語や文化に触れる機会はあるが、国際問題や開発途上国についての意識や知識、関心が高いとは言えない。学習発表会で調べたテーマを発表し、話し合うことで、世界に向けての視野は高まっているものの、世界と自分自身とのつながりや関わりを実感している児童はほとんどいない。</p> <p>本単元では、フィリピンを通して、世界を見つめていくことを目的としている。JICAの国際問題や国際協力に関する諸資料を活用するとともに、海外研修で学んだフィリピンで暮らす人々の現状や諸問題、社会の実情について知ることができる教材を準備し、子供達に生の声や情報を伝え、日本との共通点や相違点に気づかせたい。さらに、SDGsなども紹介していくことで、自分のこととしてとらえ、考えを深めさせたい。</p> <p>指導にあたっては、フィリピンを中心にクイズやスライドショーを通して、世界に関心・興味を抱くように努めていく。単元の前半は、フィリピンのよさ（明るさ）。後半は、フィリピンの課題（影）を紹介し、話し合うことで、今自分ができることや将来できる支援を考えさせたい。そのために、毎回まとめの時間に、学習カードを書く時間を十分にとることで、自分がどう感じたか、これからどうしたいかを見つめ直すようにしたい。</p>
--	---

【4】展開計画（全 6 時間）

時	テーマ・ねらい	活動・内容	使用教材
1	フィリピンってどんなところ 	1 アンケートをもとにフィリピンのイメージランキングの紹介 2 フィリピンの子供たちから見た日本のイメージ（予想）のランキング紹介と結果 3 フィリピン研修のスライドを流す。 4 感想の発表と次時の予告	・子供達のアンケート ・ランキング表 ・フィリピンの研修のスライド集 ・学習カード（振り返り）
2	世界やアジアからフィリピン（光） 	1 「世界が100人だったら」の絵本を読む。 2 2つの写真の比較からアジアの現状を知る。 3 フィリピン紹介クイズ（日本と似ている点と相違点） 4 感想の発表と次時の予告	・「世界が100人だったら」の絵本 ・2つの写真の比較や現状のパワーポイント ・フィリピン紹介クイズ（人口・島の数・場所・ハロハロ）のパワーポイント ・学習カード（振り返り）
3	フィリピン（影）格差問題 	1 子供達の笑顔の写真からイメージする。 2 「物乞い」をする子供達にお金を渡したらよいか話し合う。 ・賛成 反対	・研修訪問先であるNPO法人アイキャンで交流した子供の写真 ・交流しているビデオや「物乞い」をする子供達の写真

		<p>3 研修訪問先であるアイキャン、ユニカセ・コーポレーションの活動紹介と子供達の笑顔（明るさ）</p> <p>4 感想の発表と次時の予告</p>	<p>・アイキャン、ユニカセ・コーポレーションの活動と考え方の写真</p> <p>・学習カード（振り返り）</p>
4	<p>研修訪問先である NGO LOOB との交流から①</p> 	<p>1 LOOB との交流を見る。</p> <p>2 交流先で交流した高校生リーダーの活動とランキングのやり方を説明</p> <p>3 ダイヤモンドランキング （個人からグループ） ・時間があったら練習と発表</p> <p>4 感想の発表と次時の予告</p>	<p>・高校生との交流の様子の写真</p> <p>・ダイヤモンドランキングのカード</p> <p>・学習カード(振り返り)</p>
5 本時	<p>研修訪問先である NGO LOOB との交流から②</p> 	<p>1 研修で交流したフィリピンの高校生のダイヤモンドランキングの紹介と自分達との比較をする。</p> <p>(1) フィリピンの高校生の比較</p> <p>(2) 自分達との比較</p> <p>(3) 高校生リーダーの夢・ランキングの説明とアンケートを用いての（幸せ）比較</p>	<p>・拡大したランキング表</p> <p>・高校生の写真とランキング紹介（3つの例）</p> <p>・アンケートのカード（幸せ）</p>

		<p>2 インタビューしたビデオを見て今までの学習を振り返る。</p> <p>3 感想の発表と次時の予告</p>	<p>・ビデオ</p> <p>・学習カード（振り返り）</p>
6	世界に目を向け、自分を身つめ直そう	<p>1 世界に起こっている問題</p> <p>2 SDGs と海外で働く日本人（JICA・NGO・青年協力隊の紹介と現地の隊員やスタッフからのメッセージ</p> <p>3 自分を見つめよう（目標）</p> <p>4 発表と今までの学習を振り返る。</p>	<p>・世界の問題（映像）から考えさせる。</p> <p>・SDGs について説明している映像と資料</p> <p>・自分を見つめ直すカード</p>

【5】 本時の展開

過程・時間	学習活動	指導上の留意点（支援）	資料（教材）
導入 (10分)	<p>1 前時までの学習の確認をする。</p> <p>2 残りのグループのダイヤモンドランキングの発表をする。 ・理由や質問・感想</p>	<p>・なぜその項目を優先すべきと思ったのか、理由も発表させる。</p>	<p>・高校生との交流の様子の写真</p> <p>・拡大したランキング表</p>
展開 (25分)	<p>3 フィリピンの高校生のランキングの紹介と自分達との比較をする。</p> <p>(1) フィリピンの高校生の比較</p> <p>(2) 自分達との比較</p>	<p>・ランキング表から、共通点は家族大事であること、アンケートカードから、全てが家族につながっているフィリピンの人達との違いに気づか</p>	<p>・拡大したランキング表（フィリピンの高校生3人）</p> <p>・アンケートカード（幸せ）</p>

	<p>(3) 高校生リーダーの夢・ランキングの説明とアンケートを用いての(幸せ)比較</p> <p>4 インタビューしたビデオを見て今までの学習を振り返る。</p>	<p>せる。</p> <p>・路上生活やゴミ山で働く子供が幸せかどうかを予想させる。インタビューしたビデオを振り返り、家族と一緒にいることが幸せという価値を実感させていく。</p>	<p>・ビデオ</p>
<p>まとめ (10分)</p>	<p>5 感想の発表と次時の予告をする。</p>	<p>・学習カードを書く時間やペアで話し合う活動を十分に確保することで、自分がどう感じたか、これからどうしたいかを見つめ直すようにしたい。</p>	<p>・学習カード(振り返り)</p>

【授業実践の様子】

1 ダイヤモンドランキングの発表



2 幸せについての討論(グループ)



3 幸せについてのビデオ



4 感想の発表（ペア）



【6】 本時の評価

・現地の高校生と自分達のランキングとの比較をするため、拡大したランキングを掲示したが、視覚的に有効であった。その後、アンケートカードをもとにグループで討論させたが、話し合いにより現地の人と自分達との幸せの違いに気づくことができた。もう少し時間が取れば、意見がより深いものとなったと感じた。最後に、ビデオを見て学習を振り返ったが、現地でインタビューした映像は、何よりも説得力があった。学習カードから、フィリピンの子供達の笑顔の秘密に気づき、自分を再度見つめ直そうとしていた姿が見られ、この授業を行ってよかったと実感した。

【7】 単元を通した児童生徒の反応/変化

1 時間目

・フィリピンは、田舎のイメージがあったけれど、高い建物が多く、子供も大人の人もみんな明るいし、積極的だなあと感じた。

2 時間目

・日本と似ている所もたくさんあるけれど、文化や習慣が違うことが、一番強く心に残った。
・日本の人口がこのまま減ってしまうと、今より貧しく大変になるのではないかと心配になり、もっとしっかりがんばらないといけないと思った。

3 時間目

・小さいのに家族のために役に立とうとするフィリピンの人の姿を見て感動し、泣きそうになった。ぼくも家族のためにがんばりたいと思う。また、ぼくは、すぐに落ち込んだり悲しんだりするけれど、フィリピンの人は、自分と違って強くたくましい心をもっていることが分かった。苦しみや悲しみは、みんなでシェアすればいいと思う。
・フィリピンの人は大変なのに、なぜ笑顔が絶えないのかと思っていたが、「友達」「家族がいること」など何気ないことが笑顔の秘密なのかなあと感じた。幸せについて、深く勉強したい。
・パソコンを使い、自主勉強でフィリピンの問題を調べてみた。そこには、お金持ちと貧しい人の差が激しいのっていたが、実際にビデオを見て、考えられない生活を送っていることが分かった。私にもできることはないかと感じた。

- ・総合の勉強を通して、私は、どれだけ楽で平和な生活をしているのだろう。このような人を助けたい。どうやったら力になれるかと思うようになった。

4 時間目

- ・ダイヤモンドランキングでは、グループの考えがぶつかって大変だった。高い方は、周りのこと、低い方は、自分のことにした。毎回、話し合いや討論しているので、するどい質問がきてもしっかり答えることができるようになってきた。
- ・とても貧しそうなのに、なぜ笑顔でいられるか分からなかったが、だんだんその理由が分かってきた。家族にことを思うと笑顔になれるのだと思う。私たちは、当たり前のように感じているけれど、とても大切な時間だと気づいた。

5 時間目

- ・フィリピンの人達は、ネガティブにならないで、何事にも前向きに考え、心が強い人だと思った。フィリピンの勉強が、こんなにも奥が深くて驚いた。自主学習で復習したい。
- ・フィリピンの多くの子供達が「家族といる時が幸せ」と言っていて驚いた。私たち日本人は恵まれすぎているのではないかと思う。私も大人になったら、NPOやNGO法人の団体に入りたい。

6 時間目

- ・世界には、17の課題があることが分かった(SDGs)。私にも何かできることはないかもっと詳しく調べてみたい。
- ・テロや紛争などの様々な問題があって、世界のために活動している青年協力隊があることが分かった。自分も日本人として生まれてきたので、世界のために役に立つことをしたい。
- ・フィリピン以外にも支援を受けている国があり、日本も災害の時は支援を受けたことを初めて知った。「ともに」とは、そういうことだと思う。世界中の人が自立できるといい。

【単元を通し変容した生徒の態度や学習意欲】

- ・開発途上国に対する考え方（マイナスイメージからプラスイメージへ）
- ・知らないことを知る楽しみや喜び（世界に関する興味・関心の広がり 自主学習の取り組み）
- ・日本人としてできること（省エネ、ユニセフ・ユネスコ作文や書き損じはがきへの参加）

【途上国・異文化への意識の変容】

（授業前）

- ・フィリピンのイメージ 「バナナ」「暑い」「元気」「バスケットボールがさかん」
- ・国際問題や開発途上国についての意識や知識があまりない。

（授業後）

- ・フィリピンのイメージ 「笑顔」「日本と似ている」「家族を大事にしている」「貧富の差が大きい」などが追加された。

- ・フィリピンの授業を通して、途上国・異文化を理解するとともに、JICA や NGO など途上国を支援する団体や支えている人がたくさんいることを知った。海外のニュースに関心を持つようになり、将来、ボランティア活動に参加したり、JICA や NGO など働いたりしたいという児童が多くなった。

【8】自己評価

苦勞した点	<ul style="list-style-type: none"> ・フィリピンを訪れてみて、教材化できるものは、複数あった。しかし、その中から、児童の実態や発達段階にもものを選び、テーマを絞ること難しかった。 ・実際に教材化しようとする段階になると、ほしい写真が見つからなかったり、映像や音声がなかったりする場面に直面した。グーグルドライブや事後研修で、他のメンバーの写真や映像を共有することで助かった。 ・どうしても伝えたいことや実践したいことが多すぎて、焦点が定まらない授業になってしまうので、一つに絞り込み、「何を伝えるか」を明確にするとよい。
改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・研修前に児童の開発途上国に対する考えと、研修後の考えが一目で分かるようなアンケートを作成しておくとうい。意識の変容を比較しやすい。
13. 成果が出た点	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が世界やフィリピンを身近に感じるようになったこと。 ・他者に対して、共感的な気持ちで考えると共に、自分自身についても振り返り、見直そうとする気持ちが強くなった。
備考（授業者による自由記述）	<ul style="list-style-type: none"> ・国際理解教育について人とのつながりを作れたことが大きい。コーディネーター、JICA のスタッフはもちろん、共に学び合う仲間とうれしい時、困った時、行き詰まった時に話し合える関係を築けたことは財産である。

添付資料：授業で使用したパワーポイント（抜粋）

<p>パワーポイント 1</p> <p>LOOB主催の高校生との交流</p> 	<p>パワーポイント 2</p> <p>笑顔でも…。</p> 
--	---

パワーポイント 3

ゴミ山の近くに住んでいる現実



パワーポイント 4

彼女達とこんな交流をしてきました。



- ・今生活する(生きていく)上で、大切な事を、ダイヤモンドランキングで表し、発表してきました。

パワーポイント 5

彼女達は、何を書いたのかな？



- ・みなさんもやってみよう。
- ・生活する(生きていく)上で、大切な事を、グループで話し合い、ダイヤモンドランキングで表してみましよう。

パワーポイント 6

ダイヤモンドランキングは、どうでしたか。



- ・彼女には、スチュワーデスになりたいという夢があります。
- ・家族のため、教育(勉強)し、仕事につき、家族を楽しんであげたいとがんばっています。

パワーポイント 7

みんな、イロイロ市を愛し、よくしようと考えています。



- ・みんな明るく、笑顔でいる理由が、少し分かったかな。
- ・日本に住む皆さんは、どうでしょうか。幸せですか。もう一度、自分の行動を振り返ろう。
- ・最後に、まとめのビデオを見てみましょう。

ワークシート

ダイヤモンドランキング (個人)

あなたは、今、中学生・高校生です。
(1) 生きていく(生活していく)上で大事だと思うことを9つに書きます。

3つは、例から選びましょう。
(例) 金、時間、旅行、夢、愛、勉強、好きな事(しゅみ)、スポーツ

お金	教育	健康
仕事	友達	家族

(2) (1)の□に書いたこと(9つ)を

□に書きましょう。
* 上が優先順位が高く、下が低いものです。なぜ、そう思ったの理由も考えてください。



- 参考資料：・2017年度教師海外研修報告書
- ・開発教育実践ハンドブック
 - ・世界がもし100人の村だったら
 - ・DVD「授業で使える10分映像集」